

コロナウィルス問題の余波

服部 健一
米国特許弁護士
2020年3月

1. WHDA 法律事務所状況

コロナウィルス問題で殆どの米国特許法律事務所は現在一時的にオフィスを閉鎖してテレワークで仕事を行っております。

弊事務所も基本的に閉鎖しておりますが、どうしても事務所へ来る必要がある場合はボランティアになっており、毎日10数人位は事務所でも仕事をしております。

現代社会では e-mail によるネットビジネスが発達しておりますのでテレワークでも今のところは特別に大きな問題は生じておりません。家で仕事をしていると意思の疎通の点で若干不便さはあるものの、反面、時間的には余裕があるため、e-mail やデータの整理が捗るのは大きな利点です。

とは言え、アメリカのコロナウィルス問題はどんどん悪化し、レストランも一時はテイクアウトは OK だったものの、今は一か月全面クローズになっているので先行きが心配です。

とにかく今はじっと我慢して従来出来なかった仕事や問題点を改善し、後はコロナウィルス問題の収束を待つしかないのでしょう。

私は自分の過去の経験で石油ショック(1972年の田中総理との仕事)、バブル崩壊(1990年代)、同時多発テロ(2001年)、リーマンショック(2001年)のような色々の激変を乗り越えて来ましたので、今回も必ず落ち着くところに落ち着くと静観しております。

しかし、テニスクラブもゴルフ場も閉鎖しているのは私のにとってはちょっと辛いですね。運動はジョギングか空いているテニスボードでちょっと打つしかありません。ただ、スイングをあれこれ考えられるのは若干のメリットです。

2. 米国特許庁

(1) テレワーク

そもそも米国特許庁では 2012 年位から自宅で仕事をするテレワークをずっと行っています。導入当時の頃はこのシステムはホテリング (hoteling) という名称でした。理由はたまに米国特許庁に行って仕事をしなければなりません、そのためには仕事をするためのオフィスを予約しておく必要があるためです。



米国特許庁が何年も前からテレワークを行って来た理由は、①自宅で仕事ができるので優秀な審査官の退職者(特に結婚したり、子供が出来た者)を防げ、又、そういう者を採用し易くなる、②米国特許庁のビルのスペースを小さく出来、経費を節約出来る、③交通渋滞を緩和出来る等です。

テレワークは米国特許庁のみならず全官庁で可能な限り前から実施して来ています。たまに米国特許庁に出勤しなければなりません、その頻度は審査官の経験年数によって異なります。ともあれこのコロナウィルス問題で USPTO のテレワークは先見の明があった評価されるでしょう。

このテレワークは、民間も数年前から行っており、特に今回のコロナウィルス対策で非常に活発になっていますので今後のビジネス改革へと発展するでしょう。

(2) USPTO のウェブサイト<<https://www.uspto.gov/coronavirus>>に示されていますように、コロナウィルス問題で書面の提出が遅れた場合は Petition fee を免除しています。更に議会は米国特許法に定義される法定期間を一時的に停止する緊急法を検討中で近日中に発表される見込みです。

(3) USPTO のビルは基本的に閉鎖していますが業務はテレワークを通して通常通り行っております。

(4) 3月13日(金)以降のインタビューやヒアリングは、当面の間ビデオ又は電話によるリモート・ヒアリングで実施しています。

ということで、当面は米国特許庁の通常業務に大きな支障は生じておりませんが、対面が必要な本格的業務は繰り延べされております。

3. 日中韓の問題

コロナウィルス問題は世界を席卷しており、社会・経済だけでなく、あらゆるビジネスにも大きな影響を受けております。とにかく社会を閉ざすことになるのでバブル崩壊やリーマンショック以上の影響が出つつあるのかもしれない。

しかし、その中であって大変な朗報もあります。それは日中韓関係の良好化です。日本は今年に入って大量のマスクや防護服を中国へ送ったために今は逆に中国から大量のマスクが送られて来ており両国は非常に良い関係になりつつあります。中国では反日映画も減少したと言われています(今でも反日映画を放送するのはバカげているといえますが、国が民意をコントロールするために必要なのでしょう)。正に愛は世界を救うという感じです。

そしてその余波が何と日韓にも反映されつつあることです。3月20日に日中韓外相のテレビ会議がありコロナウィルス事態の収束に向け3カ国が協力する認識が得られただけでなく、東京



オリンピック・パラリンピックの実施を目指す日本の立場を両国が支持したというニュースです（注：オリンピックはその直後に延期が決定しましたが）。韓国も一応でも支持したことは驚くべきニュースといえます。

IOC が 2013 年に 2020 年オリンピックの開催地を東京に決定した時に中韓両国が猛反対したことはご記憶にあると思われます。それほど両国は日本に対して強い恨み、嫉妬心を持っていたといえます。しかし、コロナウィルス問題が勃発してからまず日本が積極的に中国を支援し始め、そのお返しとして何と中国が日本を支援したという動きはいかに中国が最初の日本支援に感謝していたかを示すものです。こういう暖かい動きは戦後初めてといってよいのではないのでしょうか。

韓国であればもし日本がマスクを送ろうとしてもまず受領を拒否するでしょう（2014 年に韓国籍のセウォル号が沈没して、日本の海上保安庁が支援を申し出た時、韓国は拒否しました。後に遺族の韓国人が、何故拒否したか、と非常に怒ったらしいですが）。そのせいかこうした日中間の動きの中でも、日韓でマスクや防護服を供給し合ったという情報はいくらネットで検索しても見つかりません。

それでも、ここに来て韓国も外相会議でコロナウィルス問題を撲滅させることに日本に協力するだけでなく、オリンピック開催に協力することを表明したことは驚くべき展開といえます。この動きを続けて行けば、日韓の間でも助け合う動きが出て、その内慰安婦や徴用工問題も少しずつ雪解けに動く可能性もあるかもしれません。その意味では今日のコロナウィルス問題はポジティブな面ももたらしているといえます。

日中間の支援関連の記事

<https://diamond.jp/articles/-/229873>

http://japanese.china.org.cn/politics/txt/2020-03/01/content_75761233.htm

<https://www.bookservice.jp/2020/03/13/post-41957/>

<https://www.asahi.com/articles/ASN3C6QKN3CUHBI01W.html>

https://www.fnn.jp/posts/00050187HDK/202002072203_reporter_HDK

4. 東京オリンピックの延期

コロナウィルス問題の世界的な蔓延のため、結局 2020 年東京オリンピックは 1 年延期になりました。これはホテルや観光業や運輸業に大被害を与えることは深刻な問題です。しかし、これも結果的にはかえって大成功になる可能性はあります。

まず世界のスポーツ大組織は日本と IOC の英断に非常に感謝しており、これは朗報です。次に、オリンピックを延期した事自体がオリンピック史上初ということで記念すべきオリンピックになります。



そしてコロナウイルス問題が終焉し、2021年の東京オリンピックが成功すれば世界は、コロナウイルス問題に勝利した、日本の努力の賜物だと大感謝することは間違いないでしょう。とにかく世界が協力して成功させれば永遠に歴史に残る延期オリンピックになることは間違いありません。日本は第2次大戦時にオリンピックを返上したという汚名があるのでこれを覆す絶好の機会ともいえます。

今からそれを期待するには早過ぎるかもしれませんが、我々日本人は大成功のオリンピックを目指して努力するしかありません。

5. 人類と病原菌

コロナウイルスの蔓延の状況は、人類が古代から色々な感染症が蔓延した時の事象と全く変わりはないようです。

人類は果たして進歩しているのでしょうか。

いや、進歩していること自体は当然です。科学や医学の発達は著しいし、今は情報は世界中ネットワークで繋がっているので対処方針も素早く共有出来ます。

では何故コロナウイルスは簡単に防げないのでしょうか。それは病原菌も科学や医学の発達と共に変貌しているからでしょう。

要するにお互いに切磋琢磨している相対性原理のような現象かもしれません。

今とにかく必要なのは忍耐なのでしょう。

欧米で爆発的に広がっているのは白人はプライドが強いため自分は関係ない、大丈夫だという奢りのためかもしれません。とにかく彼らはマスクをする習慣がないので、やっと最近付け始めた位です。

日中韓の3国ではコントロールが見られるのは、日本の場合は忍耐力、中国の場合は国の強権政治、韓国の場合は両国には負けてはならないという対抗心のためかもしれません。

いずれにせよ科学技術の発展と共に人類が気づかない内に発達した正体の知れない病原菌と戦うためには時間をかけて忍耐強く戦い、ワクチンの開発を待つしかないかもしれません。

人類は科学技術の発展を謳歌するだけでなく、知らず知らずに恐ろしいモンスターを同時に作り出しているかもしれないことを常に認識すべきなのでしょう。

結局、神は、「人類よ焦るな、もっとゆっくり歩け、協力して歩け」と言っているのかもしれませんが。